

日中
あかやま
語学 原田 鏡
No. 809
2016/ 10/5
日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西目黒1-1-1807231室
日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号11所
01250-0-3835
日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

中国帰国者との交流会 —小・中学生が大活躍—

日中友好協会岡山支部 小林軍治

9月17日(土)、福祉交流プラザさいいでんで中国帰国者との交流会」が開催されました。

この会は、2007年4月11日に中国帰国者の日本



プラザ講座の詩吟・舞踊の皆さん

語教室」が、プラザさいいでんで開講されたのが契機となりました。最初は「お月見と音楽の夕べ」と題して行い、2008年から中国帰国者との交流会と呼ぶようになりました。今回で9回目です。

今回の開催理由は、次のとおりです。

地域住民と地域在住の中国帰国者を対象に、互いが持つ伝統文化を体験することにより、交流を図り、互いに認め合い、敬いあうという機運を高めるために開催する。」

会は、職員の守安さんの司会で進められ、開会のあいさつに続き、オープニングは、日中岡山支部の太極拳のメンバーが勤めました。(続くプラザ講座生や中国帰国者による様々な交流内容については感想文をご参照ください。)

行き届いた事前準備

「餃子の試作」など—
今回は、松本館長をはじめ職員の本山さん、守安さんが



ボランティアの皆さん

打ち合わせ会」餃子の試作会」などの事前準備をしっかりとされたことが、素晴らしい内容で、多数の人々が参加し、成功した要因だと思えます。とくに小学生に「ボランティア」と役割を与え、指導されたことが大変よかったです。

日中岡山支部は、竹内理事長、曾田理事夫妻など10人が参加しました。私は、カレンダー購入のお願い、オリンピックで卓球の福原選手が中国の選手と表彰式で腕を組んでいる姿を紹介しながら、草の根の日中友好の大切さを話し



二胡演奏 東公民館二胡クラブ

ました。
二面に、布下さんと原さんの感想文を載せます。



プラザ講座の皆さん

中国語通訳山中さん

日本語教室の紹介

受講生 益田桜子

帰国者たちは日本に帰ってきてすぐ仕事をしました。

日本語の勉強は仕事の中で、日本人と交流することで勉強します。彼らは日本語を専門的に勉強していません。新しく日本語教室が始まると、帰国者はその勉強に行きました。先生は50音図から発音を教えてくれました。日本語の会話や文法も教えてくれました。生徒たちも次第に増えました。始まった時、高島教室ひとつだけでした。今、芳田、高島、財田・長岡(月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日)の日本語教室があります。

孫も日本語教室の生徒

私の孫は財田小学校の3年生です。みんなの前で発表することははずかしかったです。

今、日本語で発表するのがよくできます。孫は日本語教室へ行く前には、休みの日はテレビを見て、パソコンのゲームで遊んでいました。これは目にとっても悪いです。教室で宿題を書きます。間違ったところは先生にすぐ直してもらいます。先生は正しい答えがどうしてこうなるのかを説明してくれます。今

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.biz/
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



孫も日本語教室の生徒です。生徒は先生を信頼しています。ひとりの生徒の友達が結婚します。教室でプレゼント何がいいですか先生に聞きました。いくつかの意見をくれました。最後に日本の有名な化粧品(資生堂)を買って友達に贈ることにしました。

日本語教室に見学に来て!

財田プラザの近くに住んでいる帰国者と中国から日本に来た人は、日本語教室へ来てみてください。

小学生と中学生がいる家庭は毎日仕事が忙しいです。家での子供の勉強を見るのはとても難しいです。金曜日の夜、土曜日の午前、日本語教室があります。小学生と中学生は休みです。小学生と中学生は休みです。小学生と中学生は休みです。日本語を勉強してください。テレビを見ない、ゲームで遊ばないのはとてもいいことです。日本語教室はいつでもみんなを歓迎しています。



餃子の実演をする 益田夫妻

9・18 柳条湖事件街頭宣伝 日中友好協会倉敷支部

犬飼 繁

9月18日は満州事変のきっかけとなった柳条湖事件が起こった日です。ちなみに中国では満州事変とは言わず、9・18事変と呼んでいます。日中友好協会倉敷支部は、18日、11時〜12時まで雨の降る中、栗本理事長をはじめ8人が集まり、倉敷駅1Fで日中不再戦、平和友好を訴え、道行く人々にビラを配る取り組みを行いました。9月18日

は1945年8月15日の敗戦まで続く15年戦争の始まりです。侵略戦争の事実をしつかり受け止め、2度と戦争を繰り返さないという決意を新たにするとして、この日を心に刻みつけたいものです。日中関係が厳しい情勢にある今だからこそ、大切な取り組みだと思います。



「中国帰国者との交流会」に参加して

この会は、多くの帰国者が暮らす集合住宅に近く、戦後中国に残され、やつと帰国された方たちに向けて発足した日本語教室が、週に3講座開かれるこの会場で9年間続いている。今年是中国語の通訳を中国残留孤児二世が担当し、日本語の聞き取りが苦手な高齢の帰国者にも、楽しみやすい会となった。

息の合った共同作業

餃子作りの実演では、二組の帰国者夫妻(益田・今岡)が前後のステージに分かれて、夫が皮を広げて妻が具を包ん

小学生のクイズ―思わず胸が熱くなった―

だ。「はい」形がきれい」と驚きの声が上ががり、息の合った夫婦共同作業が日本の家庭ではなかなか実現しない光景であったことも印象的に受け止められていたようだ。

その後の試食は、地域の栄養委員さんたちが早くから来て、帰国者夫妻とともに試食用餃子の準備を。ほかにもプラザ運営協議会、地元の小学生ボランティアなど、地域ぐるみで会を支えてくださった。

太極拳「二胡演奏」詩吟・剣舞「茶道実演」など中

日文化の競演は続き、最後のプログラム「日本民謡」ではともに踊った。「小学生クイズ」は帰国者のお孫さんたちが、中国語に関するクイズを出題。その堂々たる進行ぶりには、よちよち歩きのところから知る者の一人として、思わず胸が熱くなった。今年度より着任のプラザ館長を「ボス」と呼び、日ごろから伸び伸び振る舞うことが認められている場であることも彼らが力を発揮できた根拠と思われた。

彼らの世代に、よりよい、日中の友好関係を残さなければならぬ。政府間の思惑はどうあれ、この日の約70人の参加者は「親しくするほうがよっぽど楽しい」と実感する会であったことと思う。

日本語教室講師

布下しおり

中国帰国者との交流会に参加

日岡山太極拳講習会

日中友好協会岡山支部、太極拳講習会は、竹内先生、青木正、岡田(指導員)、原の4人が参加しました。

太極拳32式を、青木さんの「ハーモニカ演奏(曲、故郷)に合わせて、岡田(指導員)、原が表演させていただきました。ぶっつけ本番で、表演に臨みましたので、途中頭の中が一瞬真っ白になる場面もありましたが、岡田さんの「テンジエン」の声に我に返り、表演し終えることができました。

今年の交流会は、体験型で行われました。中国帰国者による中国餃子の実演、そして、試食もさせていただきました。手打ちで作った皮に包まれた餃子は、讃岐うどんのような弾力でとてもおいしかったです!

二胡クラブによる演奏は、悠久の大地を感じられ、中国の郷土楽器フルースは、民族的音色を感じさせてくれました。また、詩吟、茶道、日本民謡なども盛況に行われました。

今年、ボランティアの小学生、中学生も多く参加して、交流会を盛り上げて、楽しく行うことができました。来年も参加させてもらおうと思います。

左から原さん 岡田さん



死刑をどう思いますか?

竹内和夫

9月10日(土)、岡山弁護士会主催の討論会がありました。大変おもしろい貴重な時間をすごしました。題して「徹底討論、死刑―考え悩む世論―」でしたが、午後1時半から5時まで、元裁判官の弁護士、映画監査ら4人のパネリストが、貴重なデータを示しながら、また早稲田大学で行われたグループ別討論会の映像……も写されました。

日本政府は国連人権審査会で過去なん回も「まだ日本には死刑制度があるのか、止めなさい」といわれつづけています。日本政府の言い分は「日本の世論が80%死刑賛成だから」と。弁護士さんのデータによると、80%など、とんでもない。世論調査のしかたが問題だといえます。内閣府の調査(質問のしかた)が変わるたびに世論が動いている事実を1956年以来10回の数字をあげて論じました。

いま死刑制度を廃止した国々で、殺人が増えた事実はないし、アメリカ(州によってちがう)と日本が取りのこされていろいろらしい。

次回の新聞送付作業は

10月11日(火)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

井林田 和 井内井
河小曾真 竹内井